

# 羽曳野市景観計画

## －概要版－

### 景観法とは

都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るため、良好な景観の形成に関する基本理念及び国等の責務を定めるとともに、景観計画の策定、景観計画区域、景観地区等における良好な景観の形成のための規制、景観整備機構による支援等所要の措置を講ずる我が国で初めての景観についての総合的な法律です。

### 景観計画とは、

景観法第8条の規定により、良好な景観形成を推進する区域において、区域の範囲、その区域内での景観形成の方針、建築行為等に対する制限に関する事項等を定めるものです。

平成26年10月 羽曳野市

# 景観形成の理念・目標・方針

## 1 景観形成の理念

羽曳野市は、古市古墳群をはじめとする先人たちの残した歴史・文化を継承しつつ、美しい山並みや川の流れ、ブドウ畠が広がる丘陵などの豊かな自然環境を維持しながら、落ち着いた住環境をもつ住宅都市として発展してきました。それらが調和した景観は、市民が愛着と誇りをもち、人々を惹きつける魅力をもったものとなっています。

羽曳野らしい美しい景観は、私たち一人ひとりの知恵とたゆまない努力によって守られ、つくられていくことの大切さを認識し、まちづくりの主体である市民、事業者、行政、専門家等が協働で保全・活用しながら、新たな魅力を創造し、このかけがえのない財産を後世に伝えていきます。

## 2 景観形成の目標

羽曳野市の風格のある「歴史・文化」、豊かな「自然」、活力と潤いのある「都市・市街地」が創り出す「羽曳野らしい景観」を守り、育み、活かすための取組や活動を、市民、事業者、行政、専門家等が協働により繰り広げていくため、景観形成の目標を次のように設定します。

歴史・文化の風格、自然の豊かさ、都市・市街地の活力と潤いを  
協働により守り、育み、活かすまち はびきの



### 3 景観形成の方針

#### ■ 景観形成の基本方針

古市古墳群や歴史街道などがつくりだす

歴史・文化の風格を感じられる景観の形成

本市が誇る歴史資源の数々は、羽曳野市の歴史を知るだけではなく、日本の歴史を考える上でも大変重要なものです。

私たちの祖先がその時々に創造し、守ってきたこれらの歴史資源を将来世代に引き継ぎ、羽曳野らしい歴史を感じられる景観を形成します。



山や川、農地などがつくりだす

自然の豊かさを感じられる景観の形成

金剛山系の山地や石川、飛鳥川等の河川、丘陵のブドウ畠や田園等の農地などの豊かな自然資源は、私たちの生活にゆとりと潤いを与えてくれます。

これらの自然資源を守り、育み、活かすことにより、羽曳野らしい緑豊かな景観を形成します。



住宅市街地や都市施設などがつくりだす

活力と潤いを感じられる景観の形成

新たな住宅市街地や商業施設、工場、大学、公共公益施設などは、人々の生活を豊かにし、都市の活力をつくりだします。

歴史や自然との調和を図るとともに、地区ごとのイメージを活かすことにより、人の営みや活力を感じられる景観を形成します。



#### ■ 主体ごとの景観形成の方針

市、市民、事業者、専門家は、次に示す方針に基づき、それぞれの立場で、その責務を認識し、創意工夫を生かしつつ連携し、協働することにより、羽曳野らしい良好な景観の形成に努めていくものとします。

##### 市

- 景観形成に関する基本的かつ総合的な施策を策定・実施し、良好な景観の形成の必要性についての普及啓発を図ります。
- 市民や事業者が行う活動を支援し、それらの調整を図ります。
- 公共事業による魅力的な公共空間を形成し、景観形成を先導します。

##### 市民

- 景観を形成する主人公として、自ら良好な景観の形成に関する理解を深め、それぞれの創意と工夫を發揮することにより、優れた景観の形成に積極的に取り組みます。
- 市が行う景観形成に関する施策に協力します。

##### 専門家

- 専門知識を活かし、市や市民、事業者の景観形成の取組を支援します。

##### 事業者

- 自らの事業活動の用に供する建築物等や施設が、地域の景観をつくりあげていく主要な構成要素であることを自覚し、地域の特性を守り、活かして、魅力的なものにするため、必要な措置を講じます。
- 市が行う景観形成に関する施策に協力します。

## ■ 景観ゾーン・景観軸ごとの景観形成の方針

景観ゾーンや景観軸の特徴に応じた景観形成を進めるとともに、景観ゾーン相互の際（きわ）の景観形成に留意し、羽曳野市全体としての調和のとれた景観形成を進めます。

景観ゾーン・景観軸の区分		景観形成の方針
景観ゾーン	歴史的景観ゾーン	古市古墳群景観ゾーン 古市古墳群については、羽曳野市の歴史を象徴する景観資源として、また、市街地における豊かな自然資源として適切に保全します。
		集落景観ゾーン 各地域の成り立ちや発展の経過等の地域の特色や歴史を読み取り、伝統的な様式を継承するとともに、地域の伝統的な活動と調和した歴史的風致を感じられる景観を形成します。
	自然的景観ゾーン	田園景観ゾーン 農業施策と連携して農空間の保全を図るとともに、それらと調和した土地利用や建築物等を誘導することにより、広がりのある緑豊かな田園景観を保全・形成します。
		丘陵ブドウ畠景観ゾーン 農業施策と連携してブドウ畠等の保全を図るとともに、それらと調和した土地利用や建築物等を誘導することにより、羽曳野市特有のブドウ畠の広がる丘陵景観及び眺望景観を保全・形成します。
		山並み景観ゾーン 金剛・和泉葛城山系は、市街地景観の背景となる山並みとして、また、羽曳野丘陵は、市街地縁辺部に残された貴重な自然資源として、緑豊かな景観を保全します。
	市街地景観ゾーン	一般市街地景観ゾーン 区域内に残る旧集落や歴史文化資源等との調和を図りながら、民有地の緑化を推進し、良好な住宅地景観を形成します。
		丘陵住宅地景観ゾーン 生垣や庭木、街路樹などによる緑化を図るとともに、現存する緑の適切な管理と育成により、緑豊かな住宅地景観を形成します。
		近代住宅地景観ゾーン 羽曳野市の市街地形成の歴史を象徴する住宅市街地として、歴史と風格を感じられる緑豊かな住宅地景観を保全・形成します。
		にぎわい景観ゾーン 本市の玄関口として、安全・安心、快適で、いきいきとした魅力あふれる都市景観の形成をめざすとともに、応神天皇陵古墳などの本市を代表する歴史的景観や風格のある歴史的なまちなみと調和した景観を形成します。
		学術・文化景観ゾーン 学園前周辺においては学園都市として風格のある都市景観形成をめざし、街路樹の植栽等による緑豊かで洗練された景観を形成します。
景観軸	歴史景観軸	竹内街道や東高野街道等の歴史街道と一体となる建築物等の歴史的景観を保全するとともに、街道としてのつながりを感じられる景観を形成します。
	自然景観軸	水辺空間の持つ自然特性を活かした親しみのもてる景観を形成します。特に石川及び飛鳥川は、東部山間部の山並みや周辺の田園空間と一体となった景観を形成します。
	道路景観軸	街路樹による整備や沿道敷地内の緑化の促進等によりうるおいのある景観の形成を図るとともに、屋外広告物や沿道建築物を適切に誘導することにより、良好な沿道景観を形成します。

